

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| ・理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| ・安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| ・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| ・サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|----------------------|
| 事業所名 | グループホーム翠風園 |
| (ユニット名) | 萌木(もえぎ) |
| 所在地 (県・市町村名) | 新潟県新潟市南区高井東2丁目13番33号 |
| 記入者名 (管理者) | 宇都宮 秀子 |
| 記入日 | 平成 21 年 1 月 3 日 |

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| . 理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| . サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|----------------------|
| 事業所名 | グループホーム翠風園 |
| (ユニット名) | 花浅季(はなあさぎ) |
| 所在地 (県・市町村名) | 新潟県新潟市南区高井東2丁目13番33号 |
| 記入者名 (管理者) | 宇都宮 秀子 |
| 記入日 | 平成 21 年 1 月 3 日 |

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|--|--|-------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ・入居者のそれぞれの生活歴を理解し、また尊重した上で理念をかんがえ取り組んでいる。 | | ・入居者が日々穏やかに、生きがいを持って生活していただけるよう、理念を意識し取り組んでいる。 |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | ・理念・目標を職員で考え、具体的に表し、日常生活の中で生かせるよう日々努力している。 | | |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | ・家族、地域に向けて事業所としての便りを定期的に発信し、理解を得ている。 | | ・日々の生活の様子等、より具体的に紹介できる内容のものを今後発信し、地域・家族のより深い理解を得たい。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | ・近所の農家から野菜を購入したり、また近くの美容院や商店の利用を積極的に行っている。 ・歩行が困難な方には、近くの美容院から出張していただいている。 | | ・近所の店より野菜を購入したり美容院を利用したりしている。 ・たまに皆で外食をして楽しんでいる。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | ・地域の祭りや文化祭行事への参加を、積極的に行っている。 ・自治会の夏祭りには子供御輿がホームに寄って下さり、入居者の楽しみの一つになっている。 ・地域の社会福祉協議会主催のニコニコ昼食会などに参加している。 | | ・地域の祭りや行事には積極的にでかけ、交流するよう努めている。 ・地域の方のボランティアで踊りやコーラスなど来て頂き、楽しんで交流している。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|-----|---|
| 6 | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | <p>・地域の高齢者の閉じこもり等を防ぐため、地域の茶の間という交流の場として、隣接するデイサービスの場所を地域に開放している。</p> | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | <p>・外部評価でアドバイスして頂いた事を活かし、改善できる所は積極的に取り組んでいる。</p> | | |
| 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>・ホームの取組、日々の様子などできるだけ詳しく報告し、今後に活かしている。</p> | | <p>・運営推進会議がもう少し充実した内容になるよう、他のホームを参考にしながら学んでいきたい。</p> |
| 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>・管理者が介護認定審査委員であることから、月に何度か区役所を訪れ、必要に応じて担当各課と話し合っている。</p> | | |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>・管理者が成年後見制度の研修会などに参加し、成年後見制度、相続、遺言などの重要性を学んでいる。 ・また入居者で必要性のある方には、民生委員などにも相談して支援していく。</p> | | <p>・当法人の役員に人権擁護委員がいることから、勉強会なども開いていきたいと思う。</p> |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>・最新の注意を払っている。 ・言葉の暴力などもないように努め、虐待の防止の徹底を図っている。</p> | | <p>・園内においては虐待はないと確信できるが、言葉遣いなど更に注意し、入居者がのびのびと過ごされるよう支援する。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|-----|---|
| 4.理念を实践するための体制 | | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>・契約時に十分な説明を行っている。</p> <p>・入居されてからも不安・疑問が生じれば、その都度説明している。</p> | | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>・苦情相談窓口を設け、苦情、不満、要望等が寄せられたら、すぐに職員に伝え改善策を講じている。</p> <p>・入居者も率直に意見や苦情が訴えられるよう、常に入居者と向き合い、話しやすい環境作りを心がけている。</p> | | <p>・入居者が何でも思ったことを言える雰囲気を作る。</p> |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>・家族が面会に来られた時に、入居者の様子や健康状態、また個々の要望等詳しく伝えている。</p> <p>・遠方の家族には電話で報告している。</p> | | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>・苦情受付窓口を設置している。</p> <p>・掲示板に第三者委員の氏名、連絡先を掲示し相談しやすいようにしている。</p> <p>・御家族が面会に来られた時、良く話しを聞くようにしている。</p> | | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>・理事長は月に一回ずつ職員の意見や要望を直接聞く機会を設けている。</p> <p>・管理者は日常的に職員の意見や提案を良く聞き、運営に反映させている。</p> | | <p>・理事長との面談は職員の希望が優先され、意見のある人は積極的に理事長に面談を申し込んでいる。</p> <p>・実行可能な意見はすぐに反映されるように、理事長から管理者に話が速やかに通ずる。</p> |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>・職員全員協力的で、事態によっては柔軟な対応をとれるようにしている。</p> | | <p>・互いに協力し合い、状況の変化にも対応出来るようにしている。</p> |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>・退職の場合は辞めた事は言わず、尋ねられたら異動になったとお話するようにしている。</p> <p>・実際に異動になった場合は、時々顔を出してもらったり、行事の時に参加してもらうなどしている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>・管理者の教育としては、月一回の経営会議があり、その場で常に問題を検討し、管理者への大きな教育の場ともなっている。</p> <p>・職員には外部の研修をなるべく受けられるよう努力しているが、ギリギリのシフトでもあり、なかなか研修が受けにくい。</p> | |
| 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>・他施設からの研修依頼や実習依頼は積極的に受け入れ交流を図っている。</p> | |
| 21 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>・理事長は積極的に職員の生の声を直接聞く機会を設け、何でも話を聞いて下さる体制がある。</p> | <p>・日常的には管理者がよく職員の話聞くように努め、相談し、適切なアドバイスができるよう努めている。</p> |
| 22 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>・理事長や理事は、管理者が報告する職員個々の努力や実績、勤務状況をよく把握し、各自が向上心をもって働けるよう、声をかけ激励する事を忘れないで実行されている。</p> | <p>・職員とコミュニケーションを良くとりながら、常に努力していきたいと思う。</p> |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>・入居前より家族等から情報を収集し、入居後も御本人と会話する機会を多く作り、希望や不安など聞き出していきたい。</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>・家族に対しても同様に、十分な話し合いの時間を作り、要望等聞き対応していく。</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|-----|---|
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ・他のサービスを受けていた事業所から情報収集し、必要とされている支援を把握し、柔軟に対応するよう努めている。 | | |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ・入居前に家族や本人に、見学や試みの宿泊を行っていただき、スムーズに入居できるようにしている。 ・家族から情報収集し、慣れ親しんだ生活リズムを崩さず過ごせるよう支援する。 | | ・体験訪問、体験入居は必要だと思う。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | ・若い頃学んで来られたこと、苦勞されたことなど分からないことを教えていただき、生活の中で活かしていく。 | | ・梅干し造りや漬物などの他、季節事の行事など、得意だった分野で教える側になっていただき、職員が学んでいる。 |
| 28 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ・面会や行事に御家族も参加して頂いたり、日頃の入居者の様子を話し、御家族がどれだけ御本人にとって心の支えになっているかを意識していただいている。 | | |
| 29 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ・一年を通し行事や誕生会等、機会があれば御家族にも連絡して参加していただき、共に楽しまれている。 | | ・行事の連絡をしたり近況報告の手紙をだしたりして良い関係が築けるように努めている。 |
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ・御本人の友人や家族・親戚の方々も気軽に来ていただけるようにしている。 | | 現状維持 |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | ・入居者1人一人の性格や入居者同士の相性を把握し、また身体的な状況を踏まえお互いに協力と支え合いが出来るよう支援している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|-----|---|
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ・相談や要望があれば随時対応している。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ・本人とよく話し合うことで、思いや希望を把握し、言葉に表現出来ない思いもミイだし、支援に努めている。 | | ・常に心がけるべきであると思う。 |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ・家族や他のサービス事業者から情報を得、また本人からも今までの生活されてきた様子を聞きだし、出来るだけ今までと変わらない生活リズムで過ごして頂いている。 | | |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ・本人の出来ること、出来ないことを見極め、その日の体調に合わせて思い思いに過ごして頂いている。 | | ・毎日、要観察。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ・本人らしさを失わず、居心地のよい毎日が送られるよう情報収集し、それを元にスタッフで意見を出し、ケアプランに反映している。 | | ・月に一度ケアカンファレンスを行い、入居者1人一人に対して意見を出し合い、ケアプランに反映させている。 |
| 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ・何か問題や変化があれば、すぐ必要とする事柄を検討し対応している。 | | ・現状維持 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ・日中・夜間を通して気づいた事柄と個々の介護記録を記入し、常に職員は情報を共有している。 | | ・職員は常に情報を共有している。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | ・消防からは災害時の訓練の協力を得たり、また民生委員やボランティア等、地域との交流会や文化活動への参加を積極的に行っている。 | | |
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | ・介護保険の更新やオムツ券の申請等、新たなサービスが必要になった場合等、相談と支援を頂いている。 | | |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ・御家族・本人とよく話し合い、希望を受け入れている。 ・出来るだけ入居前からのかかりつけ医の受診を継続している。 | | ・現状維持 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|-----|--|
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | ・認知症の外来を持つ協力医療機関があり、問題があればすぐ受診し、相談にのっていただける。 | | ・法人で認知症治療の第一人者の医師の講演会などを開いていただき、職員だけでなく御家族にも参加していただいている。 |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | ・隣接のデイサービスに看護師がおり、随時相談にのってもらい、異変がある時は早急に対応している。 | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | ・入院中も病院関係者と連絡を取り合い、本人の身体状況をよく把握し、家族ともよく連絡を取り合っている。 | | ・現状維持 |
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ・入居の際、家族と十分な時間をとり施設の方針を説明している。 ・話し合いの中で家族の理解を得ている。 | | |
| 48 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | ・重度化した場合、職員間で検討をし状況に合わせて安全・安心して過ごしていただけるように支援している。 ・医師とも相談を重ね、変化に備えての検討も行っている。 | | ・終末期に向けてのケアは、今現在の段階では夜間の急変に備えての医師の確保が困難であるため、実施に至っていない。 |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ・グループホームから退去される場合は、特養など他施設が多く、その場合は細かな情報を伝えている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|--|---|
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>・常に人生の先輩として的人格の尊重に心がけ、誇りやプライバシーを損ねる言動に気を付けている。</p> <p>・個人情報もきちんとした場所に管理してある。</p> | <p>・これからも常に心がけて行かなければならない。</p> |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>・一人一人が思っていることに耳を傾け、希望が表現出来るような環境になっている。</p> <p>・各自の力に合わせた説明をし、納得しながら暮らせるように支援している。</p> | <p>・入居者の状態によっては、希望を表現不可能な方や、自己決定出来ない方などもいらっしゃる、その方々の支援を考えていきたい。</p> |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>・入居者一人一人のペースを大切にはしているが、内容によっては職員の都合を優先している面も少々あると思う。(朝起きられない人には無理に起こすことなどもあるが.....)</p> | <p>・出来る限り入居者の方々がどのように過ごしたいか、希望に添って支援したい。</p> |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>・外出する時は一人一人職員が入居者と一緒に洋服選びをしたり、理美容に関しても希望に合わせて外出したり、近所の美容院から来ていただいたりして、希望に添えるよう支援している。</p> | <p>・おしゃれする事への感心はいつまでも無くしてはいけない事と思うし、これからもその人らしくあれるように支援して行きたい。</p> |
| 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>・食事やおやつなど本当に楽しみにしていらっしゃる。調理の手伝いや後かたづけも積極的にして下さり、お手伝いする事が大好きな様子で嬉しい。</p> | <p>・園内の畑での収穫も大きな楽しみの一つになっている。畑では皆さんとても生き生きとした表情をされている。</p> <p>・食事の準備や後かたづけ等への参加は、自分が役立っているという満足感を感じていらっしゃる様子が見える。</p> |
| 55 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>・お茶は自由に飲んで頂いている。</p> <p>・おやつ等も希望をお聞きたりして、なるべくお好みのものを楽しめるよう支援している。</p> | <p>・皆さん甘い物が大好きで、当然甘い物をお出しする事が多くなるが、身体の事を考えたおやつ作りもこれからの課題と思う。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|--|------|---|
| 56 | <p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | <p>・職員は排泄チェック表を活用して、入居者1人一人の排泄パターンを把握して、トイレでの排泄が気持ちよく出来るように、誘導・声かけしている。</p> | | <p>・現状維持</p> |
| 57 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>・午後からの入浴だが、希望や気分、タイミングに合わせて入浴出来るように支援している。</p> | | <p>・気の合う入居者同士と一緒に入浴されたり、気持ちよく入浴されていらっしゃる。</p> <p>・入浴剤を使用し、血行をよくする工夫をしている。</p> |
| 58 | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> | <p>・日中、散歩や外出、屋内での活動をする事により、夜間の良眠支援がなされている。</p> <p>・一人一人気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | | <p>・入居者1人一人の生活歴をよく知り、足を高くしたり気持ちよく眠られるよう支援している。</p> |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>・入居者1人一人の生活歴をよく知り、若い頃から得意だった事や、張り合い、喜びのある日々をすごせるよう支援している。</p> | | <p>現状維持</p> |
| 60 | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>・職員は入居者が自分でお金を持つことの大切さを理解しており、一人一人の希望や力に応じて支援している。</p> | | <p>現状維持</p> |
| 61 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>・入居者が園内だけで過ごさずに、その日の希望に添って園の畑、散歩等にでたり、車に乗りドライブ、買い物等、戸外にでられるよう支援している。</p> | | <p>・毎日のゴミだし、散歩、畑の見回り等、戸外に出かけられるようにしている。</p> |
| 62 | <p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> | <p>・日頃から希望を伺い、行事として全員で外出したり、個別対応して出かけられる機会を作りしゅんしている。</p> | | <p>・本人の希望に添うように、外出出来るよう計画をたて支援している。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|------|----------------------------------|
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ・本人の希望があれば、随時、電話や連絡がとれるようにしている。 | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | ・面会時間等、特に限定せずいつでも気軽に訪問していただけるようにしている。 ・訪問時には自室でゆったり家族と共に過ごして頂いている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・身体の安全を確保出来ている状態であれば、極力、身体拘束等せずケアを行っている。 | | |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ・ユニットによってカギを使用している。 ・職員が手薄な時間は内鍵をかけている。 | | |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | ・居室に入室する時は本人の了解を得て入室している。 ・職員は入居者に対して強制せず、プライバシーを尊重し配慮している。 | | ・常に心がけるべき事だと思う。 |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | ・自己管理が出来る方は、本人にとって大事な物、無くす事によって不穏になる方には、安全確保できる工夫をし配慮している。 | | |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | ・入居者の身体状況を把握した上でアセスメントを行い、事故防止に努めている。 ・定期的に訓練やカンファレンスを行い、スキルアップしている。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 70 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | ・救急対応訓練は各職員に任されており、新しい職員はまだ訓練されていない。 | | ・研修の必要あり。 |
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ・災害時に緊急避難出来る協力医療機関や施設を確保しており、また毎月一回は避難訓練を行い、いざという時に備えている。 | | ・グループホームを地域によく知って頂くために努力している。 |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | ・入居時に様々なリスクについて説明し、家族の理解を得ている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | ・入居者の様子、顔色、体温等、常に状況を把握し、異変の早期発見に努めている。 | | ・常に心がけるべき事である。 |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ・服薬に関しては担当者を決め、用法・用量を理解した上で服薬をしえんしている。 | | ・薬ののみあわせや効用について、もっと理解を深めたい。 |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | ・便秘を予防するため、散歩や適度な運動を取り入れ、食事については玄米、野菜、果物をたっぷり使ったメニューにしている。 ・排泄チェックにより状況を把握し、場合によっては下剤を使用することもある。 | | ・常に心がけるべき事である。 |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | ・毎食後、一人一人の状況に応じて口腔ケアを行い、定期的には義歯の消毒を行っている。 | | ・常に心がけるべき事である。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ・一人一人の健康状態を充分理解し、食事や水分補給とも全て記録し、職員が情報を共有しながら支援している。 | | ・毎日、変化に富んだ調理を心がける。 |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | ・インフルエンザの予防接種の徹底。 ・外出先から帰園後の手洗い励行。 ・手すり、ドアノブ、スリッパ、床等、毎日消毒。 | | ・常に衛生面を注意する。 |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | ・一回に調理した料理は使い切る。 ・夜間には流し台、まな板等、調理用品の殺菌消毒の徹底。 ・生鮮食品は使用日前日の届け。 | | ・新鮮な食材を使って調理する。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | ・玄関にイスを数個用意し、安全に靴の脱着が出来る。 ・観葉植物を置き、落ち着いた空間になっている。 ・職員が3人体制の時間は解錠している。 | | ・掃除が行き届いている。 |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・季節を身近に感じていただけるように、テーブルに花を絶やさない。 ・行事を取り入れ季節を感じて頂いている。 | | ・現状維持 |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ・個々のイスの他にソファーなどを置き、自由に座っていただいている。 ・冬にはコタツを立ててくつろいでいただいている。 | | ・現状維持 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|--|
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・タンスや小物などなじみの道具を持ち込んで頂いている。 ・自分の部屋である事を感じていただけるように工夫している。 | | ・感謝状、記念写真などを飾っている。 |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | ・臭いや空気のおどみは常に意識して喚起している。 ・エアコンや換気扇を用いて調節している。 | | ・エアークリーニングシステム等で空気清浄に努め、温度調節もこまめに木を配っている。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ・ポータブルトイレを設置したり、安定したイスを置いたり、ギャジアップ機能を備えたベッドを導入して工夫している。 | | ・ハード面においては一人一人に合わせててすり等を居室内に備えていない。 |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | ・混乱や失敗が見られた時には、スタッフがさりげなく導くようにしている。 | | ・失禁処理などは職員がさりげなく片付けている。 |
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ・外回りでも段差があり危ない所もある。 ・洗濯物は入居者にハンガーかけなどしていただき、それを職員が外に干すようにしている。 | | ・畑の野菜観察、収穫作業を楽しんでもらいながら、敷地内でバーベキュー会をするなど楽しく過ごせた。 |

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|---|--|---|
| 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | <p>・職員でグループホームの特徴を活かした理念を考え、取り組んでいる。</p> | <p>・入居者が日々穏やかに、生きがいを持って生活していただけるよう、理念を意識し取り組んでいる。</p> |
| 2 | <p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | <p>・法人としての理念もあるが、グループホームの特徴を活かした目標を職員で考え、具体的に表し、日常生活の中で生かせるよう日々努力している。</p> | <p>・管理者は、理念について職員と日常的に話している。</p> |
| 3 | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | <p>・家族に向けて、折に触れお手紙で様子をお知らせし、写真なども同封して喜ばれている。</p> <p>・法人の広報誌にグループホーム事業所のページもあり、その定期的発信により理解を得ている。</p> | <p>・散歩、買い物、理美容などで地域に出て行く事はあるが、こと分けて地域への発信は少ないと思う。</p> |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>・散歩等の時、行き会う方に必ず挨拶し、地域との関わりを深める努力をしている。</p> | <p>・周囲が団地であるために、日中は皆勤めに出ていて留守が多いが、なるべくご近所と親しくおつきあいできるよう取り組んでいる。</p> |
| 5 | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | <p>・地域の行事には積極的に参加する事を心がけている。斉の神行事、地域の夏祭り、アヤマ祭り等には必ず行っている。</p> <p>・自治会の夏祭りには、子供御輿や山車が必ずホームに寄って下さり、入居者ももてなしなどして楽しみの一つになっている。</p> | <p>・自治会に入れて頂き、溝の泥上げ、道路の草取り等、地域の住民と共同で行う作業には、必ず参加するよう心がけている。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|---|------|---|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | ・地域の高齢者の閉じこもり等を防ぐため、地域の茶の間という交流の場として、隣接するデイサービスの場所を地域に開放している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | ・外部評価でアドバイスして頂いた事を活かし、改善できる所は積極的に取り組んでいる。 | | ・自分達では気づかない所を指摘していただき、有り難いと思っている。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ・ホームの取組、日々の様子などできるだけ詳しく報告し、理解を深めていただけるよう取り組んでいるが、活発な意見は少ない。 | | ・運営推進会議の内容が、経過報告や入居者の様子に終始し、マンネリ化しているように思われる。他の事業所の会議を参考にしながら、充実したものになるよう取り組んでいきたい。 |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | ・管理者が区役所に出向いたとき、問題があれば相談しているが、さほど頻繁とは言えない。 | | ・区役所に出向くだけでなく、当法人で開催する講演会など、区役所の健康福祉課にも声をかけ、何人かが参加して下さるなどしている。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | ・管理者が成年後見制度の研修会などに参加し、制度の内容についてその重要性を学んでいる。 ・入居者で必要性のある方には、区役所や民生委員などに相談し、必要な支援を行っている。 | | |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | ・ホーム内での身体的な虐待はないが、無意識のうちに発する言葉、入居者の方に対する態度など、虐待の要素になっていないか常に注意している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|-----|--|
| 4.理念を实践するための体制 | | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>・契約時に十分な説明を行っている。</p> <p>・入居されてからも、不安・疑問が生じればその都度相談に応じ説明している。</p> | | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>・苦情相談窓口を設け、苦情・不満・要望等が寄せられたらすぐに職員に伝え、改善策を講じ相手にも伝えている。</p> <p>・入居者も率直に意見や苦情が訴えられるよう、常に入居者と向き合い、話しやすい環境作りを心がけている。</p> | | <p>・入居者が思った事を率直に口にできるよう心がけているが、時には個人攻撃になったり陰口になるので、そうならないよう職員が仲介し気を付けている。</p> |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>・家族が面会に来られた時に、入居者の様子や健康状態、また個々の要望等、詳しく伝えている。</p> <p>・遠方の家族には手紙や電話で報告している。</p> | | <p>・面会の多い家族と、そうでない家族がはっきりしているので、それぞれの関わりの状況に合わせて対応している。</p> |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>・苦情受付窓口を設置している。</p> <p>・家族の面会時などに良くお話を聞くよう心がけている。</p> | | <p>・御家族が職員に話しをしやすいように、常に明るく会話を心がけ、話しやすい雰囲気を作るよう努力している。</p> |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>・理事長が月に一度、職員の意見や要望を直接聞く機会を設けている。</p> <p>・管理者は日常的に職員の意見や提案を良く聞き、運営に反映させている。</p> | | <p>・理事長との面談は、意見のある人が積極的に面談を申し込み、自由に意見を言える。</p> <p>・実行可能な意見はすぐに反映されるように、理事長から管理者に話が速やかに通ずる。</p> |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>・職員全員協力的で、事態によっては柔軟な対応が可能である。</p> | | |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>・退職の場合は辞めた事は言わず、尋ねられたら異動になったとお話するようにしている。</p> <p>・実際に異動になった場合は、時々顔を出してもらったり、行事の時に参加してもらうなどしている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>・管理者の教育としては、月一回の経営会議があり、その場で常に問題を検討し、管理者への大きな教育の場ともなっている。</p> <p>・職員には外部の研修をなるべく受けられるよう努力しているが、ギリギリのシフトでもあり、なかなか研修が受けにくい。</p> | <p>・現場での実際の問題を通じて、考え方、物事の捉え方などを、先輩・後輩友によく話し合い、働きながら考え方をトレーニングする事を充実させたい。</p> |
| 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>・他施設からの研修依頼や実習依頼は積極的に受け入れ交流を図っている。</p> <p>・開設当初は頻繁に他施設を訪問したが、最近あまり行っていない。</p> | <p>・他施設の取組や考え方は大きな参考になるので、機会を作って積極的に行って行きたい。</p> |
| 21 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>・理事長は積極的に職員の生の声を直接聞く機会を設け、何でも話しを聞いて下さる体制がある。</p> | <p>・日常的に管理者やユニット責任者は、よく職員の話や聞くように努め、場合によっては職員教育担当理事などに相談し、適切なアドバイスができるよう努めている。</p> |
| 22 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>・理事長初め職員教育担当理事は、管理者が報告する職員個々の努力や実績、勤務状況をよく把握し、各自が向上心をもって働けるよう、声をかけ激励する事を忘れないで実行されている。</p> | <p>・これでよいという事はない分野なので、職員とコミュニケーションをよくとりながら、常に努力していきたいと思う。</p> |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>・入居前に見学や体験入居などを取り入れ、利用者の様子をよく観察し、本人とも充分話に花が咲く聞く時間を持つよう努めている。</p> | <p>・コミュニケーションが可能であれば、充分時間をとって本人の意向を聞き取るよう努めていく。</p> |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>・家族と共に見学して頂き、様々な不安や困っている事など家族の口からもよく聞く機会を作り対応している。</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|------|--|
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | | | |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ・必要であれば体験入居をしていただき、本人が安心して納得されるよう努めている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | ・掃除、洗濯物干し、食事の準備や片付けなどの作業を共同で行う。 ・一人一人との会話を常に心がけ、よりよいコミュニケーションがとれるよう努めている。 | | ・全職員が入居者の情報を交換し共有する事で、レベル向上を図る。 |
| 28 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ・受診等、できるだけ家族に対応していただき、本人の状態を把握していただいている。 ・行事への家族の参加、写真同封のお願い、電話、面会等を通じ、常に本人の情報を共有できるよう努めている。 | | ・今やっている事を維持できるよう努力する。 |
| 29 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 同上 | | 同上 |
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ・本人が希望される場所へ個別に対応して出かけたり、御家族の了解を得た上で、会いたい方への連絡をとるよう努めている。 | | |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | ・お茶や食事の声かけを入居者同士にお願いしたり、テーブルを囲み談話できるよう環境を整えている。 ・一人一人の所在を常に把握し、状態を確認している。 | | ・一人一人の体調、精神状態を把握した上で、入居者同士の関わり合いの手助けをする。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|------|---|
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ・現時点では、契約が終了した後、継続的な関わりを必要とする方はいらっしゃらない。 | | |
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ・入居者1人一人とよくコミュニケーションをとり、本人の希望を実現できるよう努めている。 ・困難な場合は、本人をよく観察し、希望を把握できるよう努めている。 | | ・常に観察を怠らない。 ・入居者の発した言葉をどこまで深く理解できるか、今というタイミングを見逃さず、把握できるよう努めていく。 |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ・在宅時や他のサービス利用時の情報を収集し、職員が周知するように努めている。 ・日常の中から見つけた生活歴などの情報も、職員同士共有しあっている。 | | ・観察を怠らない。 |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ・できる事とできない事を見極め、適切な援助ができるよう努めている。 ・体調により出来る日と出来ない日があることも把握する。 | | ・常に観察を怠らない。 ・顔色、行動等を観察し、心身状態を把握するよう努めていく。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ・月に一度カンファレンスを行い、家族からの情報、その他気づいた事をその都度話し合い、介護計画に反映させている。 | | |
| 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ・何か問題や変化があれば、すぐ必要とする事柄を検討し対応している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|---|------|---|
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ・ケース記録、業務日誌、排泄表、又オリジナルな記録表を作り、24時間を通しいつでも誰でも見られるように、記録収納している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 of 要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | ・本人の必要性に応じてというより、ホーム全体として民生委員主催の食事会に参加したり、消防訓練・避難訓練・救急救命訓練などで消防の協力を頂いている。 | | ・市の行事、芸術祭などに参加し、外部とのふれあいを図っている。今後も継続して行きたい。 |
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | ・必要に応じて地域包括支援センターと連絡を取り合い、支援して頂いている。 | | |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ・定期的に希望のかかりつけ医への受診をしていると共に、必要時に専門医への受診を進めている。 | | ・御家族が受診介助を行って下さる時は、医師との連携が築きにくいので、御家族と受信時の様子など良く話し合うようにしたい。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|-----|---|
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | ・認知症の外来を持つ協力医療機関があり、何かあれば相談にのってもらえる。 | | |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | ・現在看護師はいないが、地域の協力医療機関などに細かに相談し、指示を仰いでいる。 | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | ・入院中も病院関係者と連絡をとり、本人の身体状況を把握し、家族ともよく話し合っている。 | | |
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ・入居の際、家族と十分な時間をとり、施設の方針を説明している。 ・本人の最後をどのように迎えさせたいのか、家族の意向を話し合えるように努めている。 | | |
| 48 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | ・重度化した場合、医師の指示を仰ぎ、状況に合わせて安全・安心して過ごしていただけるよう支援している。 ・医師とも相談を重ね、変化に備えての検討を行い、本人に最も適した対応が出来るよう努めている。 | | ・終末期に向けてのケアは、今現在では夜間の急変に備えての医師の確保が困難なため、実施には至っていない。 |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ・今まで退去された方は、他施設や病院が多かったため、介護記録の共有、情報提供にとどまっている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|---|
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | ・排泄用品はなるべく目に触れない扱いをする。 ・一人一人の人格を尊重する。 | 常に心がけている事である。 |
| 51 | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | ・外出、レクリエーション時、参加の希望を取り入れる。 ・行事計画など、入居者の希望を取り入れる。 | 同上 |
| 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ・テレビの喉自慢、歌謡コンサートなど、希望者は一緒に楽しんでいる。 ・尺八や日記等、居室で自由に個人の時間を過ごしている。 | 同上 |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | ・理美容は家族が行きつけの美容院に連れて行って下さったり、職員同行で行ったりする。 ・外出時、また行事の時など、服装も改めお化粧をする。 | ・写真に残す。 |
| 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ・入居者参加の調理、また味付け、味見などしていただくことにより、食欲と楽しみにつながっている。 ・盛りつけや後かたづけの参加により、仲間家族としての達成感がある。 | ・時折外出に出かけ、楽しんでいる。 |
| 55 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | ・パン食の日は好みによってごはんに変更する方もいる。 ・血糖値、肥満等の健康状態に配慮しながら、なお本人の好みを尊重する。 | ・肥満などの方には盛りつけを工夫し、量が少なく見えないう工夫し、見た目でも満足出来るよう心がける。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|------|---|
| 56 | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | ・失敗のあったときは感情を出さず、本人を傷つけないよう対応している。 ・夜間も必要な方には定時のトイレ誘導をし、失敗なく気持ちよく排泄していただけるよう支援している。 | | ・ズボンの上げ下ろしなど、本人が出来る事は時間がかかって、なるべく本人にして頂くよう支援して行きたい。 |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | ・一人一人の希望の入浴方法は実施していないが、浴室内や脱衣所では、その方の話題を中心にして、他の人の前では話せない事を聞いて上げたりしている。 ・浴槽の中ではゆったりとリラックスできるよう努めている。 | | ・御本人が一番ゆったり出来る時間なので、もう少し時間のゆとりがほしい。 ・午後からの入浴になっているが、午前浴も検討していいのではないかと。 |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | ・昼食後には昼寝できるような雰囲気作りに努めている。 | | ・居室が居心地のいいように、御本人と相談しながら、ディスプレイしていけたら良いと思う。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ・昔からやってきた事を、可能な限りやって頂いている。 ・意欲の無い方には、なかなか細かな気配りが出来ていない。 | | ・気晴らしという面では、同じレベルの人同士で、時々外出などもしたいと思う。 |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ・ほとんどの方は、事務所でお金を管理している。 ・自立している方は、買い物など行ったとき、自分で払って頂いている。 | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | ・日常の業務や職印の体制などで思うように外出出来ていないが、なるべく買い物など一緒にに行けるように努めている。 | | ・なるべく外の空気に触れて頂きたいので、よく散歩にお誘いする。 ・運動不足を解消するためにも、歩くことに重点を置く。 |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ・晴天の日と、職員の数人が揃っていれば、ドライブに出たりしている。 | | ・全員で出かける時と、気の合う者同士2～3のグループに分かれ、行きたい所へ出かけられるようにしたい。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|--|------|---|
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ・事前に御家族に了解していただき、電話をかけたい方はかけて頂いている。 ・手紙を書ける方は書いて頂いている。 ・年賀状、暑中見舞いなど、なるべく本人に書いて頂いている。 | | ・常に心がけている。 |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | ・御家族が気軽に参加出来る行事を、年に何回か行っている。 ・いつでも来園していただけるよう、御家族の方に常にこえかけし、時々写真を添えて手紙を送っている。 | | ・常に心がけている。 |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・職員は正しく理解し、身体拘束はしていない。 | | ・今後も拘束は行わない。 |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ・施設の前には交通量の多い国道8号線が通っており、玄関も死角になっている。入居者の方々の中には認知症が進み、命の危険がある方もいるので、職員の目の届かない時は、鍵をかける時がある。 | | ・出来るだけ鍵を掛けないようにしている。今後はもっとオープンにしていけたらと思うが、今は現状維持。 |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | ・入居者御本人のプライバシーに配慮しながら、御本人の所在の把握に努めている。 | | ・常に要観察。 |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | ・認知症症状の進行された方がおられるので、危険な物は手の届かない所、見えない所に置き、必要があれば鍵のかかる場所に保管している。 | | ・花、洗剤などの異食行為があった為、手の届かない所に移動し、入居者様の状況を見て順次対応している。 |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | ・体験を共有するように努めているが、研修等は個人の希望に任せてあり、質の向上がまちまちである。 | | ・介護者の質の向上を考え、施設側が積極的に研修等に参加出来るよう、バックアップして頂きたい。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|---|------|---------------------------------------|
| 70 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | ・全ての職員とは行かないが、上級の救急救命訓練などに積極的に参加し、今後も最低、普通救命訓練を実施していく。 | | ・定期的に救命訓練を計画していく。 |
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ・水害の時は当園が安全であるので、場合によっては地域の方も非難してきて下さるようお話ししたりしている。 ・火災の時は近くの老人保健施設に避難する事が決まっている。 | | ・地域の方々からも、実際に日頃の生活を見て戴くと良い。 |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | ・折に触れて入居者様の生活の様子を手紙でお伝えしている。 ・変化のあった時はすぐに主治医と家族に電話を入れ指示を仰ぐ。 ・面会時などに現状とリスクについてお話ししている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | ・月一回の体重測定、週一回の血圧測定の励行、変化時は毎日のバイタル測定をしている。 ・食事中は職員が同席し同じ献立を職員も食べ、視診、食欲、体調の変化を読み取って対応している。 | | 現状維持。 |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ・一人一人の服薬内容を介護記録表にファイルし、職員に周知している。 ・家族、又は職員対応の受信時、受診結果を通院記録に記録し、職員に伝えている。職員はそれを理解している。 | | 現状維持。 |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | ・植物繊維の多い玄米や雑穀を主食に取り入れている。 ・水分摂取の把握、植物繊維の多い食品の摂取、運動、規則正しい生活に努めている。 | | ・入居者の身体を動かす意識に動機付けをし、楽しく身体を動かす工夫に努める。 |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | ・毎食後、一人一人口腔ケアを見守り、又は介助している。 ・歯の全く無い方は、スポンジブラシなどで口腔清掃をする。 | | 現状維持。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|--|-----|--|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | <ul style="list-style-type: none"> 水分は毎食時、10時、15時、入浴後など決まった時間と必要に応じて提供している。水は浄水器のアルカリイオン水を提供している。 栄養摂取は一ヶ月の献立があり、栄養士が目を通している。 自家製の畑の野菜を使用し、入居者の嗜好にあわせ和食 | | <p>現状維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた行事食や、外出先での外食など、いつもと違った食事の楽しみをこれからも続けていきたい。 |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | <ul style="list-style-type: none"> 外出より戻ったら手洗い、うがいを徹底している。 排泄後の手洗いの徹底。 ジアノック、強酸性水での消毒、エアブリートシステムによる常時空気清浄を行っている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 観戦した場合のマニュアルにそった訓練が必要。 現場で働く職員の感染症に対する勉強が必要。(講習会などの積極的参加) |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | <ul style="list-style-type: none"> アルコール消毒、調理用エプロン使用、手袋使用。 毎食ごとに台所・調理用品の整理整頓、消毒を徹底している。 おしぼり、布巾は毎食ごとに殺菌・消毒、洗濯の徹底。 食材は畑のもの、国産品を使用。 | | 現状維持 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | <ul style="list-style-type: none"> 徘徊防止装置の導入により、外に出てしまわれそうな方には、出られた場合チャイムがなる。それによってカギの開放。 外回りには花壇やベンチなど多数設置し、季節によっての楽しみがある。 | | <ul style="list-style-type: none"> 徘徊防止装置のシステムがあまりうまく作動していないので、改善が必要。 |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | <ul style="list-style-type: none"> 入居者と職員の共同作業で作った季節感のある貼り絵の展示。 外出時や行事の時の写真の掲示。 季節の花を欠かさない。 フロアにお茶のみや団らんするスペースを設け、共用の時間を楽しめるよう工夫している。 | | 現状維持 |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | <ul style="list-style-type: none"> 食堂テーブルは咳を決めて気のあった方と食事を楽しめるようにしている。 テレビの前にソファを置いたり、廊下の奥にイスを置くなどして自由に過ごしていただけるようにしている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 職員は声かけ、気配りするよう努める。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|---|
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・御本人が使い慣れたタンス、鏡、イス、御家族の写真、日本の風景があるカレンダー、お誕生祝にさし上げた色紙などを置いたり飾ったりしている。 ・御本人の状態に合わせて、あるだけ服を着てしまうような方は、タンスなどを片付けシンプルにしている方もいる。 | | ・居室内の見える所に衣類をかけるなどして、今の季節を確認していただく。 ・御家族が面会に来られた時、一緒に写真をとり、それを部屋に飾ってさし上げる。 |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | ・暖房の際の温度管理が重要である。 ・窓を開けたり換気扇を付けたり、臭いや空気のおよみには常に配慮している。 | | ・入居者の方は若い頃に比べ寒がりになられ、ジッとしていることが多いので、動いている職員よりも寒く感じ、また暑さにも弱いので、常に入居者様の身になってために空調を調節する。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ・小あがりの撤去によって、ちょうど良い空間ができ、入居者様がソファで自由にくつろがれるようになった。 ・フロアや風呂場トイレに手すりがついている。 | | ・腰掛け式もの入れの部分、背もたれがあった方が楽なので、設置方法を考えていきたい。 |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | ・個別対応に心がけ、落ち着いてお手伝い等していただけるようこえかけしている。 ・可能な方には調理、配膳、後かたづけ、洗濯物干し、洗濯物たたみ等していただいている。 | | ・在宅で出来ていたことを見だし、混乱なく得意なことをしていただけるよう努めている。 |
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ・玄関にイスやベンチを置いたり、畑に野菜を作ったり、花や木を植えたりして入居者の方が楽しんで外気に触れ散歩するときなど四季の恵みを感じられるようになっている。 | | ・現状では入居者様が畑の野菜の収穫役だが、草を取ったり苗を植えたり、入居者さまと職員と一緒に出来たら良いと思う。 |

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・認知症のため自己表現出来なくなった入居者の方々の潜在的な気持ちを深く理解し、スタッフが助言や誘導する事でその方らしさを失わず生活していただけるよう、支援させていただいている。
- ・入居者によっては家族との関わりが薄い方には寂しい思いをされないように、スタッフが寄り添い気配りしている。
- ・自家菜園を大切にし、農作業も生活の一部と考え、緑の木々草花、新鮮な野菜等と毎日関われるようにしている。

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・一人一人の方が役割を持ち、気持ちよい共同生活を送れるように支援している。
- ・入居者の皆様が昔得意だった梅干し造りやタクアン漬け、干し柿作り、縫い物等、職員が時には教えて頂きながらそれぞれの方の得意分野を披瀝して頂き、日々の生活に楽しみがまっている。